

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 5 0 号
件 名	園、学校での児童のマスク着用について
要 旨	<p>中国武漢から発生したと言われる新型コロナウイルス禍も2年がたち、情報が増えてきました。その中で、感染者数ばかりが報道され不安が増すばかりですが、2年間の県内の死亡者は63人、市内の死亡者は16人と少なく、重症者、中等症者も僅かです。市内の子供の死亡者、重症者はゼロ人です。感染者はほぼ回復しているのが現状で、報道されている印象とは違います。</p> <p>学校生活では、新潟市立学校園ガイドラインに沿って、マスク着用や手洗い、消毒などの感染対策が2年間行われてきましたが、まん延防止等重点措置が適用されました。健康な子供たちを含め、全児童のマスク着用の感染対策は効果があったのでしょうか。</p> <p>まん延防止等重点措置の影響で、不安が増し、ますます園、学校でのマスク着用が求められるようになりました。ガイドラインでは、飛沫が飛ばない、距離が確保できる場面では、マスク着用の必要はないはずですが、現実には、マスク着用の指導が多いため、マスクを外せない雰囲気になっています。長時間、長期間のマスク着用の影響で、低酸素で知能発達への影響、体調不良、頭痛、皮膚疾患、目まい、視力低下、集中力低下、免疫力低下など心身の発達を妨げると指摘する医師や専門家の方もいらっしゃいます。将来的な弊害を考えると、本当に健康な児童にマスク着用は必要なのでしょうか。</p> <p>以上のことから、次のことを求め陳情いたします。</p> <p style="text-align: right;">(裏面につづく)</p>
付 託 年月日 委員会	<p style="text-align: center;">第1項 } 文教経済常任委員会 } 第5項</p> <p>令和4年2月17日</p>
受 理	令和4年2月8日 第581号

	<p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none">1 2年間のマスク着用の効果を検証し示すこと。2 健康な人がマスクを着用したとき、感染防止効果を科学的に示すものを公開すること。3 報道の感染者数やガイドラインにとらわれず、データから冷静に判断し、マスクに限らず過剰な感染対策をやめること。4 児童の意思でマスク着用を選択できる指導を行うこと。5 マスク着用による体調・心身不調になった場合の責任の所在を示すこと。
--	---